

3学期の学校評価（教職員の自己評価）のまとめ

※評価のAは「そう思う」、Bは「概ねそう思う」、Cは「多少課題あり」、Dは「要改善」  
 （自己評価がC、Dの場合は改善策を記入すること。）

項目の( )は芳賀町子ども憲章との関連を示す

項目	評価指標	自己評価①	主な具体の評価指標	自己評価②（教職員）				達成状況と改善策 【達成状況】・【改善策】▲ (改行なしで文を入力)
				評価				
				A	B	C	D	
1 教育課程 (誇れるらるるやい)	☆教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気、児童は生き生きと生活している。  ☆教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	①	①児童や学校の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、学校としての教育目標・めざす児童像等を適切に設定している。	A 20 69%	B 9 31%	C 0 0%	D 0 0%	・保護者の学校評価アンケートの結果を活用したい。
		②	②学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解を図っている。	A 10 36%	B 18 64%	C 0 0%	D 0 0%	
		③	③教育課程の実施に必要な各教科等ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。週案での反省・振り返りを適切に実施している。	A 18 64%	B 10 36%	C 0 0%	D 0 0%	
		④	④全教育活動を通しての道徳教育や、学校行事などの特別活動を適切に実施している。	A 19 68%	B 8 29%	C 1 4%	D 0 0%	▲各学年、担任同士、授業の内容や進度等を普段から話し合うこととする。道徳主任は全校の状態を把握し、管理する。
		⑤	⑤カリキュラムマネジメントを実践するために行事反省等を実施し、様々な活動の改善・充実を図っている。	A 16 55%	B 13 45%	C 0 0%	D 0 0%	
2 学習指導 (心へん)	☆教職員は、児童に「確かな学力」を身に付けさせるために努力している。	①	①基礎・基本の確実な定着を目指して、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努め、振り返りをしっかりと行っている。(2)◎イ	A 17 61%	B 9 32%	C 2 7%	D 0 0%	・学び合いの授業の展開と、タイムマネジメントがうまくいかず、最後の振り返りを書かせる時間がとれないことがあった。 ▲時間で区切り、必ず振り返りを行わせるようにする。 ▲深い学びを意図した学習活動の大筋の流れは、確立されている。今後は、その取組を一人一人検証していく必要がある。学びの型を自分のものにしていくために、相互授業参観を積極的に進めていってはどうだろうか。 ▲学校評価の保護者アンケートで、全校一斉漢字テストを復活させてほしいという意見が、わずかだが出ている。 ▲振り返りができていない時間がある。振り返りがしやすいようにカードを作ったり、振り返る項目についてあらかじめ決めておいたり、振り返りがすぐに取り組めるようにしたい。 ・朝の学習の内容を検討する必要がある。国語・算数のドリル学習と限定するのではなく、担任が内容を決めていく（フリーな時間）のでもよいのでは？学習内容も、一人でも取り組めるような内容にした方がよいのでは？全員同じ内容の学習（ドリルをやる人もいれば、プリントをやる人もいるのではなく。）に取り組ませた方がよい。朝の読書は、学年にあった内容の読書をさせてもよいのでは？→学力テストなどで、読み取る力が低いのは、普段から長文を読むことに慣れていないのでは？
		②	②教師の協力的な指導の下に、TTなどによる個に応じた指導を適切に実施している。(2)エ	A 20 71%	B 8 29%	C 0 0%	D 0 0%	
		③	③芳賀町スタンダードの定着を目指し、授業中の姿勢、あいさつ、声の大きさ、聞く態度など、学習規律の徹底をはかっている。(2)ア	A 10 36%	B 17 61%	C 1 4%	D 0 0%	
		④	④「学び合う」という視点を大切に、主体的・対話的で深い学び合いとなるために、協動的な学習活動の充実を努めている。(2)◎イ	A 13 46%	B 15 54%	C 0 0%	D 0 0%	・①と同様。 ▲タブレットを使った学習活動の様子を、保護者に発信できると良いと思う。関心があるようだ。 ・芳賀町スタンダードをもう1度確認し、活用していく。掲示して印刷するなど、児童にも分かるようにする。
		⑤	⑤カリキュラム・マネジメント確立のため、習得した知識・技能を他教科（生活科、総合的な学習、特別活動を中心に）で活用する学習活動の工夫改善に努めている。(2)ウ	A 10 36%	B 18 64%	C 0 0%	D 0 0%	
		⑥	⑥「家庭学習のすすめ」等を活用し、自ら進んで家庭学習に取り組むような指導に努めている。(2)ア	A 13 48%	B 13 48%	C 1 4%	D 0 0%	・自主学習強化月間については、宿題も含めた家庭学習の量については、保護者によっていろいろな考えがあるようである。 ▲自主学習が良くできている児童のノートなどを見せ、どんな自主学習がいいのか、どのような内容をやればいいのかを指導する時間をとり、自分のためになる自主学習ができるようにしたい。

3 キャリア教育（やりぬく心）	☆教職員は、児童が将来の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸ばせるよう努めている。	A	①学級での活動やキャリアパスポート等において、自分の目標を立てさせ、それを振り返る機会を設け、次の目標（自己実現）につなげている。	A	B	C	D					
		10		16	13	0	0	55%	45%	0%	0%	
4 心の教育・道徳教育（思いやりの心）	☆教職員は、児童が豊かな心をはぐくみ、道徳性が養えるように、心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	B	②係活動や当番活動、にこにこ家族会議を活用して、自分の役割を果たすことができるよう指導に努めている。	A	B	C	D	▲地域の人とふれあう活動の中で、コミュニケーションをとる機会を増やしてほしい。				
		5		19	10	0	0		66%	34%	0%	0%
		C	0						・授業参観での保護者への授業公開（6学年は、1学期に実施）を予定していたが、コロナ禍でできなかった。次年度、状況によるが、授業公開をしていく。			
		D	0									
A	①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりを通して思いやりの心が育まれるよう努めている。（1）エ	A	B	C	D							
5		16	11	1	0	57%	39%	4%	0%			
B	②道徳科の年間指導計画に従い、「教える道徳教育」の実践、心に響く道徳授業の展開、他教科との関連を図った指導、保護者への授業公開等を通して、道徳教育の充実に努めている。（1）ウ	A	B	C	D							
8		7	21	0	0	25%	75%	0%	0%			
C	0											
D	0											
5 児童指導（元氣なあいさつ・正しい習慣）	☆教職員は、児童が希望や目標をもって生活し、好ましい人間関係を醸成し基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	A	①全教職員の共通理解の下に、指導体制が整備されている。	A	B	C	D					
		4		8	19	2	0	28%	66%	7%	0%	
		B	②規範意識、自己指導能力を育て、あいさつや整理整頓などの基本的な生活習慣を身に付けさせるよう努めている。（1）◎ア	A	B	C	D	▲あいさつに関しては、保護者の学校評価アンケートでも、評価は良くない。日常を振り返っても、こちらからのあいさつに、全くあいさつを返さない児童がいる。保護者会で声を上げ、家庭・地域を巻き込んでのあいさつ推進運動を考えていくべきではないか。 ・PTA総会や保護者会で、あいさつの推進について呼びかけていく。 ・「あいさつ推進運動」について、知恵を貸していただきたい！				
		10		10	18	1	0		34%	62%	3%	0%
		C	0									
		D	③学級の雰囲気が温かく、児童が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。（学級共遊の年5回実施）（1）イ	A	B	C	D	▲クラスによって差がある。ただ、中でも先生方は自分なりに頑張っていると思うが、あまりにも、行事、研修会、事務等が多く、基本的な児童指導や温かな人間関係作りが徹底できない困り感があると思う。学校活動を充実させるためにも、対外的な研修会は、精選してほしい。 ・学力向上のためには、児童指導（学習に向かう学級の雰囲気）が大事です。学習指導と児童指導を両輪とする「学業指導」の充実（片輪だけでは、成り立ちません。）に努めましょう！！				
0		12	15	1	0	43%	54%		4%	0%		
A	④児童の問題行動に対して職員の共通理解を図り、未然防止と指導に当たっている。（サーバー「毎日見ること」の活用）	A	B	C	D	・要請訪問を行い、問題行動への対応について研修した。 ・児童の問題行動に対して、全教職員で真摯に対応に当たっている。担任一人では抱えきれないような問題があることは事実なので、これからも協力していきたい。 ▲共通理解だけでは足りない。児童指導に責任を持ち、目を背けないで共通実践こそ必要。 ・担任と配慮を要する児童との間の関係（信頼関係？）があるので、補教や単発で入った先生の対応が難しいときがあると思います。共通理解も、どう対応していくのか？などまで理解を共有するようであれば・・・と思います。						
12		12	15	2	0		41%	52%	7%	0%		
B	⑤心の4か条（あいさつ・返事、靴そろえ、静かに集合、無言清掃）の徹底を図るよう指導に努めている。（1）◎ア	A	B	C	D							
9		9	17	2	0	32%	61%	7%	0%			
C	0											
D	⑥学校いじめ防止基本方針に基づき、Q-U調査を活用した教育相談、アンケート、校内研修、対策委員会の実施等、いじめ防止に組織的に取り組んでいる。（1）イ	A	B	C	D	・今後も、担任や学年だけで抱え込んで、情報を共有しない、ということのないよう進めてほしい。いじめへの対応は、早期にをモットーに、そして経過を保護者に小まめに伝えていくことが大切だと思う。						
0		18	9	1	0		64%	32%	4%	0%		
6 人権教育（思いやりの気持ち）	☆教職員は、一人一人を大切に、児童が互いのよさを認め合い、人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	A	①教育計画への適切な位置付け、各教科等（交流活動を含む）においてはその特質に応じて、「『育てたい資質・能力』等」の育成に努めている。（1）ウ	A	B	C	D					
		9		17	11	0	0	61%	39%	0%	0%	
		B	②互いの良さ、思いやりの心を育てる活動を充実に努めている（なかよし班活動、児童会活動、人権週間、日々の指導）（1）ウ	A	B	C	D					
6		17	12	0	0	59%	41%	0%	0%			
C	0											
D	③教職員自らの人権感覚を磨く校内研修を行っている。（5）ウ	A	B	C	D	▲現職教育に組み込んでほしい。 ▲現職教育の年間計画に位置づける等。学力向上事業を現職教育とわかる等の方法が考えられる。 ・現職教育の担当と打合せをし、年間計画に位置付け、必ず実施するようにする。						
0		12	13	3	0		43%	46%	11%	0%		



11 研 修	☆教職員は、定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	A	①校内の研究組織や体制を整備している。(5)ア	A	B	C	D	
		9		18	10	0	0	
		B	②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。(2)◎イ(5)◎イ	A	B	C	D	
		5		21	7	0	0	
12 学 校 評 価	☆学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともにその結果を公表している。	A	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A	B	C	D	
		11		21	7	0	0	
		B	②保護者や児童へのアンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。(4)◎ア	A	B	C	D	
		3		20	8	0	0	
13 情 報 提 供 (誇 れる さ と)	☆学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報の公開をしている。	A	①学校だよりや学年だよりの発行・ホームページの公開等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。(4)イ	A	B	C	D	▲ホームページは、学年の記事の更新をお願いしたい。学年で担当を決めてあるので、よろしく。学校評価の保護者アンケートでも、同じような要望があった。
		10		18	10	1	0	
		B	②学校やPTAの行事の折などに、懇談や情報提供の機会を設けている。(4)イ	A	B	C	D	
		5		14	14	0	0	
14 保 護 者 ・ 地 域 住 民 と の 連 携	☆学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。(誇れるふるさと)	A	①保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に取り入れ、意見を聴取するアンケートも行っている。(4)◎ウ	A	B	C	D	
		9		16	12	0	0	
		B	②地域の人々と交流する機会や地域人材の活用などを教育活動の中に位置付けている。(4)エ	A	B	C	D	
		5		20	8	0	0	
15 教 育 環 境 整 備	☆設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている。	A	①教材・教具の整備と活用を適切に行っている。	A	B	C	D	今年度、資料室や倉庫の断捨離・整理整頓ができたことで、教材・教具を活用しやすくなった。みなさん片付けお疲れ様でした。
		11		20	9	0	0	
		B	②児童が活動しやすいよう、校舎内外の環境整備、美化に努めている。	A	B	C	D	
		4		16	13	0	0	
15 教 育 環 境 整 備	☆設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている。	C	③図書を整備を適切に行うなど、読書や情報活用に適した環境整備に努めている。(1)エ	A	B	C	D	
		0		24	5	0	0	
		D						
		0						

#### 来学期・来年度に向けて

- ・特別日課は必要か？必要であれば1学期の所見はできないか？→**学習指導部と検討**
- ・PTA役員負担の意見から…役員組織のスリム化、PTA行事の精選(スポーツ大会、奉仕作業、資源物回収、保護者会等)→**P役員と検討**
- ・職員の打合せを放課後にするかしないか？→**一長一短あるので、やるとしたら指導の方針を明確にする。**
- ・職員の打合せは、放課後でもよいのでは。朝の時間は、担任がいた方が落ち着いて取り組める。→**一長一短あるので、やるとしたら指導の方針を明確にする。**
- ・職員打合せは、放課後がよい。朝、担任が学級にいた方が落ち着いて1日のスタートが切れる。→**一長一短あるので、やるとしたら指導の方針を明確にする。**
- ・特別日課は、業間か昼休みがある日課にして欲しい。→**特別日課にもゆとりを入れる。もしくは(通知表)特別日課をやらない。**
- ・学習の基礎は、読解力だと思うので朝読書を増やしてもよいと思う。上級生を中心にビブリオバトルなどの機会を作り、人前で発表させてもいいと思う。読んで能動的に表現する楽しみを実感できるし、アクティブラーニングの実践にもなると思う。→**読書する本を学年にふさわしい内容の本に担任が絞ってしまっただけではどうか。**
- ・児童のむし歯の治療など医療機関の受診率がかなり低いので、保健安全だよりや通知を活用し積極的に受診を勧めたい。
- ・学力向上は何も学習のテクニックを学ぶだけでない。現職教育が多くとも月1に減らして、低学年・中学年・高学年のブロックで児童指導や学習指導→**ブロックで話し合う、共通理解をもつ場を作れるとよい。例えば、毎月第○週の水曜日の放課後は、ブロックごとで児童指導や学習指導について話し合うなど。(その時は、現職教育を入れない。)**
- ・教育相談の話し合いをし、対応策を話し合うことも必要ではないか。本校の状況に合わせて、児童対応を話し合うのも、結果的に学力向上の一つになると思う。
- ・1学期は徹底的に、ICT活用研修を現職教育でして欲しい。
- ・国算以外にも、教科によって出られない児童の対応を明確にしてほしい。・・・特別支援学級の交流について
- ・国算以外にも、参加できない児童は、特別支援学級で対応するべき。→**本人保護者の希望と現実を考慮し、各個人の体制を作るべき**